令和５年度 胎内市立中条小学校 グランドデザイン

地域の参画、地域との協働
◎地域ぐるみで子どもを育てる学校

学校運営協議会

地域コーディネーター
ＰＴＡ　後援会
つばさっ子ボランティア
中条つばさ会

＜教育目標＞
かしこく（知）やさしく（徳）たくましく（体）

＜児童像＞
自分で考え、楽しんで行動する子

目指す具体的な子どもの姿
夢をもち、その実現に向けて努力する子どもを育てるための教育の推進

○学習指導要領
○令和５年度 新潟県「学校教育の重点」
「児童生徒が主役の授業づくりの推進」
「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」
○「令和５年度 胎内市の学校教育」
胎内市教育の基本理念
「教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み」

＜重点目標＞

自分の考えをもち、楽しく学び合う子

＜教育課題＞
確かな学力の定着（知）

◎自分の成長を実感できる学習活動の実現

＜成果目標＞
◎　ワークテスト（国語・算数）における各学級の平均点が全国平均点を３点以上上回る。

＜具体的な取組＞
１　「つかむ」「かかわる」「ふりかえる」学習過程の日常化と効果的な板書の工夫
２　授業研究プランに基づく重点単元の指導
３　Web 配信問題や学年テストなどによる基礎学力の定着状況の評価
４　家庭・中学校区と連携した家庭学習の習慣化を図る家庭学習強調週間の実施と「家庭学習のススメ」の活用
５　朝読書や音読、スキルタイムの継続
６ 基本的な生活習慣及び学習規律の確立

◎夢に向かっていろいろな体験ができる子

・つばさっ子秋祭り
・子どもたちの自己有用感を高める活動

自分や友達のよさが分かり、進んでかかわる

自他を大切にする気持ちと豊かな心の育成（徳）

◎豊かな人間関係を築く態度と能力の育成

＜成果目標＞
◎　友達や家族、先生、地域の方、ボランティアの方等、誰に対しても進んであいさつできる子どもを全校の 85%以上にする。

＜具体的な取組＞
１　あいさつ強調週間を年３回設定し、進んであいさつをする実践的な活動を全校で実施（中条中学校区の連携）
２「胎内市あいさつの日」に、担当学年児童と生活委員会児童が中心となり、進んであいさつをする実践的な活動を全校で実施
３「あいさつルール」を活用した活動の実施
４「胎内市あいさつの日」での取組内容を徳育部会または生徒指導委員会で協議し、活動のねらいや方法を共有
５「あいさつボランティア」との連携

＜コミュニティスクールの目指す子ども像＞
◎ふるさとを愛し、新しい時代をよりよく生き抜く子

・自分の考えをもつ、教育の場の設定
・自己肯定感を高め、思いやりの心を育む活動

めあてをもち、運動や健康づくりに進んで取り組む子

基本的な生活習慣の確立（体）

◎やる気をもって粘り強く運動する態度の育成

＜成果目標＞
◎　50m 走（前期）と立ち幅跳び（後期）について教育活動の前後で記録向上した子どもを 80%以上にする。
◎　メディアみんなの目標（１日２時間、夜８時まで）を守ることができる子どもを全校の 80%以上にする。

＜具体的な取組＞
１　走力・柔軟性の向上を目指す重点単元の設定と学年の実態に応じたモデルプランの活用による体育授業の充実
２　体力を高める運動の継続的な実施
３「早寝・早起き・朝ごはん」に基づき、生活リズムの改善を図る指導（学校栄養士・養護教諭との連携）
４「ぱっちり にこにこ すっきりカード」による家庭と連携した生活マネジメント力の育成
５「ノーメディアデー」、「家庭での『機器』使用ルール６か条」の活用・充実

◎自分自身を見つめ、課題をとらえられる子

・ばにす週間の取組における自分の生活を振り返りながらのプランニング活動

＜開かれた学校づくり＞ 保護者・地域の人々との連携・協働
～学校運営協議会での課題の共有・解決と学校支援活動～

【ＰＴＡ】
○　学習参観、学校行事参画
○　健やかな子どもの育成を目指したＰＴＡ活動
○　つばさっ子秋祭りへの参画（指導者、活動補助）
○　学年の教育活動への参加
○　ＰＴＡ広報「さんせん橋」の発行（年４回）
○　季節行事への参画

【学校支援ボランティア】
保護者やつばさっ子ボランティアの方々との連携・協働
○　学習支援
（校外学習引率、スキー授業補助、書き初め指導、ミシン指導 など）
○　すこやか（安全指導、あいさつ）
○　図書館（読み聞かせ、読書環境の整備）
○　環境整備（校内掲示・七夕飾りや門松など季節的な行事）
○　つばさっ子秋祭りの出前教室の講師

【保護者や地域力の活用】
学校評価を生かした教育活動の検討・改善
○　学校評価計画に基づく確実な評価と検討・改善
○　保護者や地域の声を生かすアンケートの工夫
○　学校運営協議会による評価の実施
○　後援会、中条つばさ会との連携
○　学校評価だよりの発行（年２回）
○　こども園・保育園・幼稚園との連携事業（交流会）
○　学校ホームページの充実と各種たよりの工夫

【研究】
○　校内授業研究の充実
○　小中連携事業の実施
（学力向上・人権教育、同和教育）
○　同和教育の視点に立った道徳授業の実践

【特別支援教育】
○　特別支援コーディネーターを中核にした全校体制で特別支援教育の推進
○　個別の指導計画・教育支援計画を作成と定期的な評価・改善
○　スクールカウンセラー、ことばの教室、サポートルーム、さわやかルームなどとの連携